

広報 ぬまた

4

月号

2013.4.25 No.568

ピッカピカの校舎でピッカピカの1年生



4月8日（月）沼田小学校入学式

今月の主な内容

- ★町政執行方針・・・2
- ★教育行政執行方針・・・5
- ★平成25年度予算・・・6
- ★入園・入学式・・・14
- ★タカラジェンヌ誕生・・・15
- ★まちのニュース・・・16
- ★警察署長新任挨拶・・・20
- ★ふれあいINFO・・・21
- ★沼田消防から（消報）・・・22
- ★沼田警察署から・・・23
- ★生涯学習ゆめつくる・・・24
- ★図書館から・・・25
- ★役場機構図・・・26
- ★役場の新しい仲間たち・・・27

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！

また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。



3月11日（月）から3月18日（月）まで開催された第一回議会定例会で、金平町長が平成25年度の執行方針について述べ、生沼教育長が教育に関する執行方針を述べました。今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務課までお問い合わせください。



平成25年度 町政執行方針

私は、町長就任以来、町民の皆様から寄せられる大きな期待を励みに、多くの町民の声を聴くため、町民の皆様のもとに向き、ご意見をお聞きする機会を増やすとともに、町内各種団体と意見交換をしながら出来る限り誠実に、そして、町民の生活に身近な役場になることを念頭に「今住んでいる人を大切にする」新しいまちづくりに向けて、全力で取り組んでまいりました。

昨年末の総選挙において、3年3か月に及んだ民主党政権に代わり自由民主党と公明党の連立政権による第2次安倍内閣が発足し、大胆な金融政策、機動的な財政出動、そして、民間投資を喚起する成長戦略という「三本の矢」で経済の再生を推し進めようとしております。

しかしながら、大震災からの復旧・復興・原発事故との戦いがなかなか進まないなかで、この安倍政権が掲げる「アベノミクス」が、

デフレや円高から抜け出し、強い経済を取り戻し、日本経済の再生が図られることに大いに期待するところですが、地域経済にとつてはどのような影響を及ぼすのか注意深く推移を見極める必要があります。

加えて、TPP交渉への対応や戸別所得補償制度への対応が不透明となり、不安をぬぐいきれない状況にあります。農業のみならず関連産業や広範囲な産業部門に壊滅的な打撃が予想されるTPPへの参加には、断固として反対して行かなければならないと考えております。

一方、本町の農業につきましては、昨年は春先の融雪の遅れにより育苗作業が遅れ、生育への影響が心配されましたが、6月以降の好天により順調に生育し、平年を上回る作柄になるとともに、食の安心・安全が大きくクローズアップされるなか、販売価格が良好に推移し、一年の努力が報われる結果となったところで

あります。

また、商工業においては、過疎化に加え、多様化する消費者ニーズ、近隣の大形店への消費の流失、公共事業等の減少から地元企業が倒産するなど、非常に厳しい経営環境にあります。が、市街地の賑わいを取り戻す新たな事業として、農商連携により取り組みました「夕市産業まつり」への支援など、まちおこし事業を積極的に支援するとともに、町の魅力及び情報発信力の強化推進を図るため、細坪基佳氏の沼田町ふるさと大使への委嘱や地域発信型映画「ユキモノガタリ」の凱旋上映会に取り組んできたところであります。



平成25年度の予算につきましては、政権交代による国の地方財政計画が予算編成に間に合わないなど、特異な状況のなかでの編成を余儀なくされたところであります。今後とも国の財政動向や経済動向を見極め、町の将来に禍根を残すことのないよう健全な財政運営を基本とし、昨年掲げた10年後の将来を見据えた持続可能な町づくりの重点施策を次のステップへ進めるとともに本町が抱える重要課題等について、町民の意見を聞きながら将来の町のありべき姿への方向性を示してまいりたいと考えております。

町政執行の重点戦略について

安全で安心して末永く住み続けられる沼田町の住まいと住環境の整備を目指す

には、子育て世代から高齢者までが住みやすい環境や世代間交流が可能となる魅力ある賑わいのあるまちづくりにも配慮され、同世代交流が日常的に実現でき、子育て環境の向上など、医療・福祉サービスや子育てサービストとの連携、買い物など日常的なサービスを町民誰もが利便性を享受できるように環境を整えるよう、中心市街地の充実を図ることが重要と考えます。

冬季の除排雪の労力の低減、維持管理コストの少ないまちづくりを考え、町の中心部への住宅立地等、旧中学校跡地の活用を中核に、三世代が集い、安心して生き生きと暮らせる「新たなまちを創造」し、住みやすさを追求した旧中学校跡地利用施設整備基本計画の策定に着手してまいります。

超元気な高齢者戦略

我が町においては、今以上に高齢者比率が高まること予想されており、将来的に医療や介護費用の負担が重くのしかかることが懸念されており、介護を必要とする高齢者を増やさない、元気な高齢者はいつまでも元気で過ごすことが出来るように、介護予防や高齢者の方々に介護支援ボランティアに参画いただき、自身の健康にも繋がるようなシステムづくりの検討に着手してまいります。

また、町民の足の確保と利便性の向上を目的とした予約型町営バスの運行を開始することにより、高齢者の方々が通院や買い物等外出機会の増加に繋がるよう進めてまいります。

子育て満足度日本一のまちづくり戦略

本町の子育て支援策は、他の市町村に負けない施策を提供してきたところであります。町の宝でもある子供たちや子育て世代が我が町に住んでもらうために、更なる子育て支援策を充実しつつ子育て世代を応援したまちづくりを進める必要があります。

更に、町の未来を築いていく上で「人づくり」が持続可能な社会を創り上げる大きな要素であります。沼田町総合教育計画（平成24年度策定）には「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」を基本理念とし、長期的な視点に立ち、子どもたちの学力や体力、家庭や地域における教育力を高めるために、町全体で教育を推進し、地域独自の教育環境づくりを進めてまいります。

地域産業づくり戦略

持続可能なまちづくりを実現する鍵は、「産業の振興」や「産業の創出」であることは言うまでもありません。

そのなかで主産業である農業においては、十年後も持続可能な沼田農業の発展を目指すために、新たな戦略本部となる「農業総合対策室」を核としながら活力ある沼田農業を目指してまいります。

また、我が町の特産品であるトマトジュースの生産技術の向上と販路拡大に向けた対策にも着手するとともに、安心安全な商品づくりと収益の確保を目指すための施設整備の検討を進め、地域資源の価値を一層高めつつ、農業や商業振興に結びつくよう取り組んでまいります。

更に、地元企業への振興や商品開発等商工業者の新分野進出、経営高度化を促進する支援事業を拡充する

とともに、道内外からの企業誘致を促進するために立地にかかる助成措置を拡充し、働く場の創出と産業振興を進めてまいります。

健康・IT戦略

昨年、「私の健康が創る『沼田の未来』」をスローガンに、町民の健康にこだわった町づくりに着手したところであり、引き続き「食」と「運動」を最優先の課題と捉え、生活習慣病の疾病発生を防ぐ一次予防対策や特定健診未受診者対策を行い、医療費の適正化を目指してまいります。

また、町民への情報発信ツールの一つにITを活用したメール配信システムを確立し、情報を常に提供できる体制を構築し、緊急時対応など町民生活の更なる向上に資する取り組みに着手してまいります。



以上、平成25年度の町政執行にあたっての基本的な考え方について述べさせていただきました。

地方を取り巻く環境が目まぐるしく変わることや過疎化が急速に進む我が町の活性化や発展は、決して容易なものではなく、克服しなければならぬ課題も数多くありますが、そのような状況にあつて、地域の活力の源は人であることを十分認識し、常に問題意識を持ち、「自ら考え」、「自ら実践」して、地域の課題解決に向けて、積極的に取り組む人材の育成を進めるため、国が進める地方公共団体職員等研修受入れ事業や北海道と市町村等の職員交

流事業を通じて積極的に職員の人材育成に取り組んでまいりたいと考えております。

また、まちづくりの基本は、町民との対話と相互理解であり、町民の声には謙虚に、そして積極的に耳を傾けなければなりません。

より解りやすい情報を提供し、活発な対話を通じて相互の理解を深めながら、町民と行政が一体となって、知恵を出し、協力し合い、助け合い、物質的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさも感じられる我がふるさとを将来に引き継がなくてはならないと考えております。



す。

そして、私は、町長として、その先頭にたつて、沼田町第5次総合計画「ぬまた21世紀夢プラン」で掲げた「ずっと『支える』もつと『はばたく』雪国の理想郷沼田町」の実現を目指すとともに、基本姿勢として、本年は、町民の安心・安全を更に進めるため、「新しい沼田町」の創造に向かって、新たな一歩、確かな一歩となる年にしたいと決意し、職員とともに進めてまいります。町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。平成25年度の町政執行方針いたします。

平成25年度 教育行政執行方針

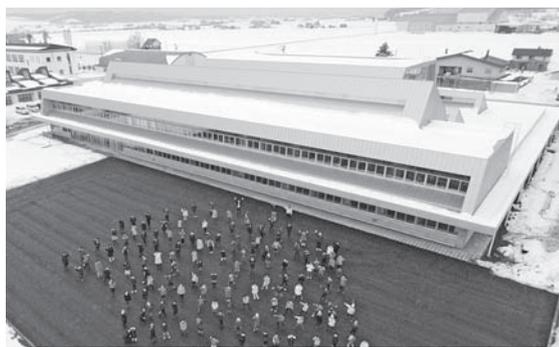
今我が国は、人口の減少と少子高齢化に加え、グローバル化や情報化等が急速に進展する中、社会の変化に柔軟に対応しながら、新しい時代を生き抜いて行く事の出来る逞しさを備えた人材の育成が求められております。

特に子供達には、一人ひとりがしっかりと自立し、様々な困難にも立ち向かえるだけの実践的な力を身に付けさせることが必要とされておられ、また、いじめや不登校等への対応についても極めて重要な今日的課題になっております。

その解決に向けては、学びの土台を築く学校教育において、学力、体力、道徳性を養うための教育活動の充実を図ると共に、家庭や

地域もそれぞれの役割を認識しながら一体となって子供達を育む体制づくりが必要と考えております。

また、人生90年とも言われる長寿社会の中で、町民一人ひとりが生き甲斐を感じながら心豊かに人生を過ごすためには、それぞれが人生の各段階において多様



な目的を持ちながら学び続ける事の出来る生涯学習社会の充実が必要であり、それを担う社会教育の役割は益々重要なものに成って来ております。

持続可能で活力あるまちづくりを更に進めて行く上において、教育の果たす役割は極めて大きく、教育委員会と致しましても、そうした認識をしっかりと持った中で、平成25年度からスタートする「沼田町総合教育計画」の基本理念である「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」を目指して、「子供達の学力向上とその基盤となる豊か

な心、健やかな体の育成」、「地域社会が一体で進める教育の体制づくり」、「子供達の健やかな成長を支える教育環境の整備」、「豊かな人生を支援する社会教育の充実」の4つを目標に掲げ、鋭意努力をして参りたいと考えております。

「まちづくりは人づくり、人づくりは教育」と言われますが、その「人づくり」は生涯に亘る学びの中で実現されるものであり、その環境づくりが教育行政に課せられた大きな役割であると考えております。

小学校はこの1月から新校舎での授業が始まりました。新たな環境の中、満ち足りた表情を浮かべながらいきいきと学ぶ子供達の姿は、我々にとつての明日への希望そのものであります。

また、新年度は総合教育計画がスタートする他、幼小中の一貫連携教育、幼保の一元化、給食事業の広域化等についての本格的な準備等も始まる事になっており、正に沼田町教育の新たな発展に向けた一歩を踏み出す大事な1年と考えております。

そうした平成25年度の教育予算につきましては、町財政も厳しい状況ではありますが、町理事者のご理解の下、最大限の計上をいただきます。

教育委員会と致しまして、教育の重大な使命をしっかりと自覚し、住民の皆さんが生き甲斐を感じながら学び続ける、活力に満ちた沼田町を創って行くために、職員共々全力で取り組んで参る所存であります。

町民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。平成25年度における教育行政執行にあたっての所信と致します。

平成25年度 一般会計予算総額

歳入

40 億円

地方交付税 20億 12万円
 国に納められた一部の税金から全国の市町村の規模に応じ、地方公共団体が等しく事務を遂行できるよう、一定の割合で国から町へ配分される税

国・道支出金 4億 9,699万円
 町が行う事業のうち、国・道が公益性を認め、その事業を実施するために国から町に交付されるお金

町債 3億 3,430万円
 建設工事など大きな事業の実施に伴う借入金

地方譲与税及び交付金 1億 2,020万円
 地方譲与税、地方消費税交付金等

町税 3億 2,887万円
 町税・固定資産税など

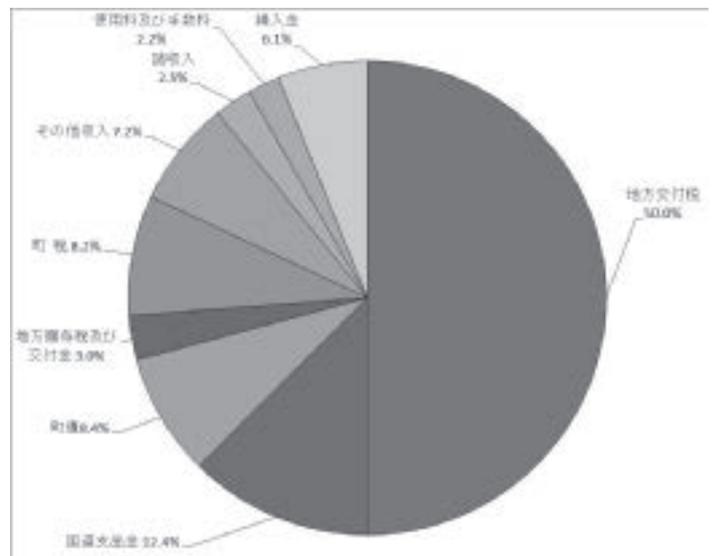
繰入金 2億 4,232万円
 事業を行うための基金の取り崩し

使用料及び手数料 8,604万円
 公営住宅使用料・ゴミ処理手数料など

諸収入 1億 209万円
 貸付金元利収入など

その他収入 2億 8,907万円
 財産収入・寄付金など

歳入に占める割合



特別会計予算 17億4,624万円

会計名	当初予算額
養護老人ホーム特別会計	2億4,083万円
特別養護老人ホーム会計	3億3,679万円
高齢者グループホーム	3,942万円
介護保険特別会計	3億3,201万円
国民健康保険特別会計	5億2,933万円
後期高齢者医療特別会計	5,467万円
公共下水道特別会計	2億1,319万円

平成25年度当初予算は、町政執行3年度目となり「健康」「教育」「防災」「地域力」の重点施策を更に次のステップへ進めるとともに、10年後の未来へ残す新しいマチの形を創造する入口の予算として様々な改革と改善に取り組む施策を盛り込んでいるものです。

健康 教育
防災 地域力

歳出

総務費 3億1,772万円

町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費

民生費 5億1,470万円

障がい者や高齢者に対する福祉の充実、保育園運営などの経費

衛生費 1億6,840万円

生活環境の保全、ごみ処理などに係る経費

農林水産業費

5億7,198万円

農業の振興に要する経費、生産基盤の整備などに要する経費

商工費 6,211万円

企業の振興及び夜高あんどん祭りなど観光の振興などに要する経費

土木費 3億8,687万円

道路維持改修、除排雪、公営住宅やパークゴルフ場などに要する経費

消防費 2億9,129万円

火災の予防・消火や急病人の救助などの経費

教育費 4億3,448万円

小中学校の教育の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費

公債費 4億7,902万円

町の事業を行うために借入れた資金の返済に充てる経費

職員費 6億4,114万円

職員の給与などを支払う経費

その他 1億3,229万円

議会費 4,541万円 諸支出金 8,006万円
労働費 531万円 災害復旧費 51万円
予備費 100万円

基金残高の推移見込（一般会計所管分）

単位：千円

(3) 基金残高の推移見込み（一般会計所管分）

基金の区分	24年度末 現在高 (見込)	平成25年度中の増減			25年度末 現在高 (見込)	
		利子積立	新規積立	取崩		
財政調整基金	335,179	403		50,000	285,582	
減債基金	652,780	832	23,000		676,612	
特定目的基金	振興基金	629,138	730	25,000	81,727	573,141
	自動車学校基金	461	1			462
	ふるさとづくり基金	15,826	18	1,000		16,844
	社会福祉基金	107,465	129	1	12,348	95,247
	農業振興基金	139,329	168	26,000	17,888	147,609
	農地流動化基金	19,902	24		5,417	14,509
	商工観光振興基金	28,939	35	1	9,000	19,975
	企業等誘致推進基金	57,021	69		3,365	53,725
	移住定住応援基金	32,345	21		14,000	18,366
	みどりの景観等保全基金	12,262	15		464	11,813
	スコール基金	20,960	26	1	3,584	17,403
	青少年スポーツ文化振興基金	999	2	1		1,002
	地域医療確保安定化基金	250,871	302			251,173
学校教育振興基金	218,362	258	1	44,525	174,096	
特定目的基金合計	1,533,880	1,798	52,005	192,318	1,395,365	
定額 奨学資金貸付基金	6,081	8	100		6,189	
定額運用基金合計	6,081	8	100		6,189	
基金総合計	2,527,920	3,041	75,105	242,318	2,363,748	
備荒	普通納付分	119,195	1,300			120,495
	超過納付分	386,560	3,200			389,760
《参考》備荒資金納付金合計	505,755	4,500			510,255	

注) ① 24年度末現在高見込は、決算の状況により移動が生じます。
② 備荒資金納付金は予算計上外のものであり、参考数値です。

今後とも、一般財源の増加が見込めない現状にあり、更なる歳出削減の努力が必要です。

特に中長期的な期間でコントロール可能な公債費を抑制し、現状の歳入で持続可能な歳出規模とする「安定的持続可能な財政基盤の確立」が最重要課題となっています。

平成 25 年度 沼田町予算概要版

平成 25 年度のまちの予算を紹介しています。町の予算が、実際どのような事業に使われているのか、主な事業を中心に簡略に説明します。

もっと詳しく知りたい方は、担当課にお気軽にお問い合わせください。

5 幼保一元化（認定こども園）の実現に向けた環境整備に着手します

14,280千円

幼稚園での保育延長を求める声や就学1年前の児童が対象であり0歳から5歳までの子どもは「教育」という指導を受けることができない、保育園は「保育に欠ける」ことが入所条件であること、少子化が進む中幼稚園・保育園が別々では集団が小規模化など、幼保一元化への意識が高まる中、実現に向けた環境整備に着手することとしました。

6 安全安心な製品づくりを基本に生産性の向上や増産化を図るため加工場の新設を進めます。

18,585千円

現加工場は昭和56年度に整備したもので、築32年が経過し、施設の抱える問題点を改善しなければ今後の事業展開が難しい状況になっています。このことから、安全安心な製品づくりと生産性の向上と増産化を図り、経営の改善を図るため農産加工場の新設に向けて取り組むこととしました。

7 10年後も持続可能な沼田農業の発展をめざして「農業総合対策室」を設置します

4,005千円

農家戸数が減少する中、新規参入者や農業後継者の確保をはじめ、経営の大規模化も限界を迎えつつあり農地流動化が重要課題となっています。これら沼田農業の振興に関する施策の企画、推進をする専門部署として「農業総合対策室」を設置します。

8 指定管理を見直し新たな受託事業者で温泉運営を行います。

1 住宅市街地の整備方針など地域の特性にあった土地利用と住宅施策をめざします。

7,245千円

誰もが安心して末永く暮らし続けることのできる住宅と住環境やまちの賑わいと良好な街並みを形成する住宅と住環境、公営住宅のストック形成と適切な維持を目指し、まち中居住の推進を図るため旧中学校跡地利用を基本とした基本計画を策定します。

2 教員住宅群の再整備を行い教員の町内居住をめざします。

29,980千円

旧沼田高校の教員住宅を北海道から取得し良質な住宅に改修するとともに、小中学校の近傍であるこの地域を教員住宅群として再整備するため、今後の新築も含め、教員の町内居住推進を目指します。

3 沼田小学校改築（最終年）グラウンド整備を推進します。

152,282千円

平成23年度から工事着手した改築工事は、本年度最終年を迎え、基礎部分の解体撤去とその跡地にグラウンドを造成する工事を残すのみとなりました。すべての工事完了は10月を予定し計画の推進を図ることとしています。

4 行政機能が喪失しないよう役場庁舎・消防庁舎（車庫）の耐震改修を実施します

112,770千円

耐震2次診断の結果、役場庁舎・消防庁舎（車庫）についてNGとなったことから、防災拠点、災害対策本部機能、行政機能が失われないよう、耐震改修を実施します。

安心して暮らしやすいまちづくり

★地域医療体制の充実 13,732 千円

- ・厚生病院医師確保対策補助金
- ・厚生病院医療機器整備費補助金
- ・夜間急病テレフォンセンター等負担金

★高齢者福祉・介護の充実

- ・在宅サービス事業（社協委託事業）4,741 千円
除雪サービス事業、生活管理指導員派遣、外出支援サービス、軽易作業、生きがいディサービス **拡充**
- ・在宅介護サービス奨励手当支給事業 1,200 千円
要介護度 3 から 5 までの方で居宅サービスを毎月 1 回以上利用した場合、月額 5,000 円が支給されます。
- ・「この町に住んでよかった」住環境整備費助成 1,600 千円
介護を必要とする高齢者や身体障がい者が暮らしやすい住宅に改造工事を行う場合に事業費の 1/2 以内 80 万円を限度に助成します。
- ・高齢者世帯等除雪助成事業 3,400 千円
高齢者世帯のうち、玄関前の除雪に関し冬期間を通じて業者又は個人に委託している世帯に対し支払った額の 1/2 を（上限 2 万円）助成するものです。なお、H23 から屋根・窓除雪に対する一部助成も拡大しています。助成額は玄関前と同様で、玄関、屋根窓それぞれ別々に限度額の対象としています。
- ・高齢者ハイヤー利用助成事業 1,125 千円
65 歳以上の高齢者で、冬期間町内及び町外の病院、歯科医院、整骨院など医療機関への通院が困難となる方に対しハイヤーチケットを交付して、安心して在宅生活を継続してもらうことを目的としています。
- ・高齢者等世帯福祉灯油助成事業 1,785 千円
- ・高齢者等見守り事業 159 千円

★子育て支援の充実

- ・子育て支援事業計画の策定 2,150 千円
平成 24 年 8 月に「子ども・子育て支援法」等「子ども・子育て関連 3 法」が成立し、国の基本指針を踏まえ、地域での子ども・子育てに係るニーズを把握した上で「市町村子ども・子育て支援計画」の策定が義務付けられました。（子ども子育て会議交付金 365 千円含む）
- ・幼保一元化（認定こども園）環境整備事業 14,280 千円
基本計画及び実施設計
- ・沼田保育園保育料の軽減対策 7,904 千円
- ・沼田保育園一時預かり保育委託事業 600 千円
- ・地域子育て支援センター運営委託事業 5,057 千円
- ・子育てカフェ（交流広場）事業の開催 600 千円
- ・母子の健康づくり 4,009 千円
- ・乳幼児・児童医療費無料化事業 3,487 千円
- ・乳幼児医療費助成事業 3,287 千円
- ・中学生医療費無料化事業 1,137 千円
- ・がんばる高校生応援手当 4,620 千円



安心して暮らしやすいまちづくり

★健康づくりの推進

- ・食文化次世代伝承の取り組みを支援（健康イチバン！大作戦） 20千円
 昨年度の「食」から健康というコンセプトで実施した「食育ワークショップ in 沼田」を発展させ、家庭で受け継がれている食文化をはじめ、日本食の文化を若年層へ伝承することによって、健康的な食習慣を学び、食を通して元気ハツラツとしていきいき生活を継続できるきっかけづくりを支援します。
- ・若年健康診査の実施【強化継続】 560千円
 20歳代の約80%・30歳代の約50%は健診を受ける機会がないことから、医療保険者ごとの特定健診の対象となる前の年代（20・30代）の糖尿病等の生活習慣病予備群を減少させるため早期の特定保健指導をするための特定健診を実施することが重要となっています。
- ・身体活動・運動の普及啓発事業（健康イチバン！大作戦） 199千円
 平成24年度若年健診事業の結果から、生活習慣の改善が必要な20～30歳代が多いことが判明。特定健診受診対象年齢に到達した時には、指導対象または治療開始が必要な状態になっていると予測されます。
- ・高齢者元気100倍！教室（健康イチバン！大作戦） 573千円
 「いくつになっても健康で自立した生活を送りたい」と誰もが願っている中で、高齢者は健康上の不安を抱えている人も多い現状です。自分自身が「体の責任者」であるという認識をもつことが大事であることから、「元気100倍教室」を関係団体等の協力を得て開催。日々の健康を側面的にサポートしようとするものです。

住み良い生活基盤の確保

★防災体制の充実

- ・防災無線放送施設更新【H24～H25継続事業】 45,694千円
 平成6年に整備した防災無線放送施設（農村部の戸別受信機・市街地の屋外子局）は18年が経過し経年から老朽化が著しいことから、クリアな音声で情報伝達可能なデジタル無線に更新するものです。なお、平成24年度から25年度までの2ヵ年事業として取り組んでいます。
- ・役場庁舎・消防庁舎（車庫含む）耐震補強改修事業 112,770千円
- ・洪水等ハザードマップ作成 1,890千円
 地域防災計画の見直しや想定されていない貯水池、ため池、ダムの決壊時の浸水想定地域の掲載が必要であること。また、避難経路や危険区域などを書き込みできる使い勝手の良いマップを作成します。

★地域情報化の推進

- ・地域情報のメール一斉配信 483千円
 携帯電話普及率が全国で94.5%と100%に近い中で、新たな情報伝達手段として「メール配信」を行うことで情報発信力を強めようとするものです。
- ・ホームページのリニューアル 3,000千円
 ホームページがスマートデバイス（スマートフォン等）対応となっていないことも含め、これらの仕組みを改善し、広くHPを活用してもらおうとするものです。

住み良い生活基盤の確保

★快適な住環境と良好な町並みの創出に向けて

- ・旧中学校跡地利用施設整備基本計画策定業務委託 7,245 千円

★街路灯事業

- ・街路灯省エネランプ交換事業（H 25 単独） 4,600 千円

★地域公共交通の確保

- ・予約制町営バスの実証運行 2,634 千円

運行区域	更新線 / 委託（共成・東予・更新・高穂 1・高穂 2・沼田 6） 北竜線 / 直営（北竜 1・2・3・沼田 3・4・中央・緑ヶ丘・市内 7・沼田 1・2）
運行方法	週 2 回運行 1 日 3 往復（8：30～14：30 の間）
乗降車方法	市街地区は既存市街地区バス停まで（厚生病院、ゆめつくる、沼田駅、小学校、農協等） 市街地区以外は、自宅玄関に最も近い町道等まで
予約方法	電話予約、窓口予約（受付：役場建設課） ・搭乗予定の一週間前から前日の 16：00 まで（閉庁日を除く） ・閉庁日が締切日の場合は、直近開庁日の 16：00 まで
運賃	路線バスと同様（片道 1 乗車 100 円、子供等半額）

活気あるまちづくり

★農業総合対策

- ・新時代農業経営高度化支援事業（複合化の推進） 2,850 千円
多様な作物や技術等の導入による、農業経営の高度化を図るものに支援し、本町農業の持続的発展を目指すもの。
- ・新規作物・園芸作物増棟支援 補助率 8 割以内 限度額 1,500 千円
- ・新規作物等導入支援 補助率 1/2 限度額 450 千円 **新規**
- ・雪中ブランドづくり支援 補助率 8 割以内 限度額 1,500 千円
- ・就農後 10 年未満の後継者支援 補助率 8 割以内 限度額 1,500 千円（園芸作物増棟）
- ・婚姻後 10 年未満の後継者支援 補助率 8 割以内 限度額 1,500 千円（園芸作物増棟）
- ・土づくり推進事業（高品質・収量安定生産の推進） 200 千円
適正施肥による肥料代の軽減と地域資源の活用など総合的な土づくりを支援し農業経営の安定を目指すもの。
- ・農業生産組織育成支援事業（協業化の推進） 1,500 千円
スケールメリットによる機械経費にかかるコスト低減と、農業従事者の減少などに対応するため法人化を推進し地域農業の一翼を担う法人組織を育成するもの。
- ・農業推進委員会の設置 50 千円
- ・有害鳥獣対策委員会交付金 1,513 千円
- ・農作物加工販売流通対策事業 179 千円
- ・シカ被害防止対策事業 中山間事業



活気あるまちづくり

★新規参入対策の推進

- ・沼田町農業新規参入推進事業補助金（国制度の活用） 3,774 千円
農業新規参入者が就農するにあたって必要な研修を支援・実施することにより担い手を確保し本町農業の持続的発展を図るもの。国の「新規就農総合支援事業（青年就農給付金「準備型」）を活用し、準備型の事業期間である2年間について町単独事業として、実習手当の加算・住宅料・実習ハウス借上料などの助成を行うもの。2年研修。
- ・沼田町農業研修生受入事業補助金 1,546 千円
国の「新規就農総合支援事業（青年就農給付金「準備型」）を活用した「沼田町農業新規参入対策事業（前ページ参照）」の「お試し」研修と位置付ける事業であり、新規就農希望者の不安材料を取り除き、本研修（2年研修）へスムーズに移行させることを目指すもの。

★その他の対策

- ・農業総合対策室の新設 4,005 千円

移住定住の促進

★移住・定住の推進

- ・移住定住応援事業 14,000 千円
新築住宅取得、中古住宅取得、2世帯住宅加算、町内業者加算、融雪溝沿線加算、土地購入
- ◇中古住宅取壊新築加算 **拡充**
住宅を新築するため、建物付きの土地を取得して、町内業者により取壊し・撤去・処分し住宅を新築する場合、取壊し・撤去・処分費用の2/3以内を取得奨励金に上乘せる。限度額 100 万円。
- ◇住宅リフォーム **拡充**
過去にリフォーム助成金の対象となった住宅も、25万円まで助成を受けていなければ25万円を限度に助成対象とする（同一工事は対象外）。
- ・融雪施設設置助成事業 1,400 千円
- ・がんばる高校生応援手当 4,620 千円

商工業の振興

★商工業の振興

- ・商工会運営費補助金（経営改善普及事業） 6,893 千円
- ・中小企業融資資金利子等補給事業 3,750 千円
- ・まちなか賑わい夕市事業 350 千円
 - ・とむとむ広場での市場開催支援
 - ・町内各商店のセール開催
 - ・ポイントカード会加盟店の独自ポイントサービスの実施
 - ・夕市時の宅配サービス



～ 平成25年度 町の予算概要 ～

商工業の振興

★企業誘致等推進

- ・企業立地促進条例の改正 **拡充**
道内外の企業立地を促進するため、企業立地にかかる助成措置の内容を拡充することとしました。

学校教育の充実

★沼田町学校教育振興基金の創設（建設基金の組み替え）

- ・親子ふれあいファミリーコンサート（校舎改築記念） 1,000 千円 **新規**

★教育環境の充実

- ・教員住宅の整備 29,980 千円
- ・沼田中学校暖房給湯設備改修（FF化） 43,525 千円

社会教育の充実

★社会教育推進事業 4,700 千円

★図書館事業 4,182 千円

社会体育の充実

★社会体育推進事業 2,020 千円

★高穂スキー場リフト支柱耐力度調査 4,090 千円

教育関係の充実

★沼田町教育総合アドバイザー設置事業 1,911 千円

★沼田町一貫・連携教育推進事業 940 千円

★学習サポート事業 600 千円

★スクールカウンセラー派遣事業 210 千円 **新規**

★旧道路事務所宿泊棟改修事業 22,787 千円

★奨学資金貸付枠拡大事業 **拡充**



その他の施策

★地域おこし協力隊事業 8,229 千円

★ふるさとめまた応援隊 30 千円 **新規**

★沼田町の将来を担う町づくりリーダー養成塾の開講 300 千円 **新規**

★緊急雇用創出推進事業 5,297 千円

★空知中央バス生活交通路線維持補助金 382 千円

4月。新しい生活の幕開け。
入園・入学式の季節。

4月1日 (月)

沼田保育園 10名入園
土肥芳子園長



共成保育園 8名入園
渡辺敏昭園長

4月8日 (月)

沼田中学校 28名入学
長野時敏校長



沼田小学校 20名入学
藤森正男校長

4月9日 (火)

沼田幼稚園 18名入園
田中敏夫園長



タカララジエンヌへの道、夢掴む！ 飯田花音さん宝塚音楽学校合格！

3月13日に沼田中学校を卒業した飯田花音（かのん）さん（15）が兵庫県の宝塚音楽学校に合格しました。今年、宝塚音楽学校の試験を受けたのは881人。試験は面接やクラシックダンス、ジャズダンス、声楽などで、最終的な合格者はわずか40名。合格倍率約22倍。この狭き門を突破



したのは、北海道・東北地方では花音さんだけで、さらに中学卒業してすぐに合格したのは花音さんを含め5名だけという、まさに快挙です。花音さんが宝塚を目指すようになったのは中学1年生の時。3歳からバレエを始め、バレリーナを夢見ていた花音さんは中学校の文化祭で「男

装コンテスト」に出場。「自分でかっこいいと思った」その男装姿は周りからも好評で、そのままコンテストに優勝。それを機に宝塚の男役の夢を抱くようになっていきました。花音さんは3月23日から宝塚市で行われた1次試験に参加。1週間の内に3次試験まである怒涛のスケジュールの中も、「自然体で試験を受けられた。宝塚で歌や踊りが出来る事がただただ嬉しくて、楽しくて仕方がなかった」と、ありのままの自分で試験を受けられたと語っていました。3月29日の合格発表の日。花音さんは「やる事は全部やった」と決意を胸に母伸枝さんと合格発表の確認へ。そして自分の受験番号「1166」を見つけると「番号があったことにびっくりして、ポカーンとしてしまった」と花音さん。そのままお母さんに両手で大きな丸を作って合格

装コンテスト」に出場。「自分でかっこいいと思った」その男装姿は周りからも好評で、そのままコンテストに優勝。それを機に宝塚の男役の夢を抱くようになっていきました。花音さんは3月23日から宝塚市で行われた1次試験に参加。1週間の内に3次試験まである怒涛のスケジュールの中も、「自然体で試験を受けられた。宝塚で歌や踊りが出来る事がただただ嬉しくて、楽しくて仕方がなかった」と、ありのままの自分で試験を受けられたと語っていました。3月29日の合格発表の日。花音さんは「やる事は全部やった」と決意を胸に母伸枝さんと合格発表の確認へ。そして自分の受験番号「1166」を見つけると「番号があったことにびっくりして、ポカーンとしてしまった」と花音さん。そのままお母さんに両手で大きな丸を作って合格



を報告し、伸枝さんは「最初は番号が無いかと思ったけど、合格したとわかって本当に安心した」と心境を語っていました。沼田町で合格の知らせを聞いたという父恭司さんは「自分の事のようにドキドキしていたので、合格を聞いて嬉しかった」と笑顔で話していました。4月14日に沼田を出発し、16日に入寮式、20日に入学式を迎える花音さん。



2010年撮影

これが宝塚を目指すきっかけとなった男装コンテストの真。確かに！

親元を離れて寮生活を送ることについて「今は大丈夫だけど、私のことが大好きな妹が寂しがると、妹に配慮する余裕をみせ、伸枝さんは「健康面がただただ心配。あとの事は根性のある子だから何とかすると思う」と話し、花音さんへの信頼感が垣間見えました。憧れは花組所属の男役、明日海りおさん。将来的には「存在感のあるカッコいい男役になりたい。ディナーショーにも出てみたい」と語る花音さん。長かった髪をバツサリと切り、華やかな舞台を目指す15歳の少女の挑戦は、まだ始まったばかりです。

まちのニュース

Numatatown News

まちのニュースは、沼田町公式ホームページからでもご覧になれます。Facebook ページもありますので、そちらもご利用下さい。

ポートハーディ報告会

昨年7月17日（火）から27日（金）までの10日間、平成6年に沼田町と友好姉妹都市提携をしているカナダ・ブリティッシュ・コロンビア・ポートハーディ地区への派遣事業の報告会（沼田ポートハーディ交流協会等主催）が、3月21日（木）ゆめっくるで行われました。

今回派遣されたのは、金平町長を団長に町民1名と中学生5名、通訳、引率の合わせて9名です。

西尾昌浩会長の挨拶のあと、金平町長が「友好姉妹都市提携から来年20年を迎える。新たな交流の形を作っていきたい」と挨拶。その後訪問団から一人ずつ訪問した感想を発表しました。訪問団の一人で今年中学校を卒業した金子広樹君は「訪問して良かったことは、これから英語をもっと勉強して、世界で働きたいと思ったことです」と派遣により、将来に向けての新たな進路も検討したいと感想を発表していました。



学校の最新設備で学ぼう！

パソコン基礎講座

町に光回線が導入されたことにより、以前よりも身近な物となったパソコン。その使い方をゼロから学んでもらおうと、町教育委員会が3月25日（月）と26日（火）の2日間で「パソコン基礎講座」を開催しました。

1日目は新しくなった沼田小学校のパソコン教室で実施。講師のパソコンインストラクターとして活躍する沼田和恵さんと中村将揮さんが、小学校に設置されている電子黒板などの最新設備を使用して、講座に駆け付けた22名の参加者に対して丁寧に使い方を指南。1日目は、パソコンの電源の入れ方から始まり、マウスの使い方、文字の打ち方など基礎的な事を中心に指導し、上は80歳近い参加者も慣れない様子でパソコンとにらめっこをしていました。

2日目は沼田中学校で行われ、1日目よりも少しレベルアップした内容で講座は進められていました。



ピアノの調べに合わせて…

第3回家庭教育講座「絵本読み聞かせ教室」

3月26日（火）、町生涯学習総合センターゆめっくるの2階研修室3で、町教育委員会主催の第3回家庭教育講座「絵本の読み聞かせ教室」が開催され、子どもやお母さん、図書館ボランティアの方など約30名が集まりました。

講師にNHK旭川放送局専任アナウンサーの村上里和さんと、札幌在住のピアニスト岡本恵里さんを招いて開催。村上さんと岡本さんは、8年前から子ども向けに「お話とピアノコンサート」などを一緒に開催しており、今回、沼田町で絵本の読み聞かせ教室を行う運びとなりました。

スクリーンに写された絵本に合わせて村上さんが表現力豊かに絵本を読み、それに合わせて岡本さんが優しいピアノ演奏で絵本の世界観に彩りをつけると、子どもたちはワクワクした様子で絵本のお話に聞き入っていました。

「しりとりだいすきなおうさま」など4冊の読み聞かせを終えると、今度は図書館ボランティアの方たちに村上さんのおススメの絵本や読み聞かせのコツなどを伝授し、ボランティアの方は「なるほど…」と納得した様子で話しに聞き入っていました。



活発な意見交換

沼田町議会と沼田長生クラブが懇話会



3月26日（火）、町生涯学習総合センターゆめっくるのゆめっくるホールで、沼田町議会（杉本邦雄議長）と沼田長生クラブ（野道夫会長）の懇話会が行われました。

懇話会はまず始めに議員側が最近の活動状況について報告。各委員会や先日行われた定例会の様子など、議員らはマイクを手にしてそれぞれ丁寧に話していき、懇話会参加者約50名は報告に真剣な表情で話に耳を傾けていました。

1時間ほどの報告が終わり意見交換の時間に入ると、長生クラブ側から活発な意見が出され、それぞれの団体にとって有意義な懇話会となりました。

明るい学校づくりには何が必要？

沼田町仲間づくり子ども会議



3月26日（火）、町生涯学習総合センターゆめっくるの2階ゆめっくるホールで「沼田町仲間づくり子ども会議」が開催されました。

この子ども会議は、道が「どさんこ☆子ども全道サミット兼どさんこ☆子ども空知地区会議」を開催し、その中で話し合われたことを踏まえ、沼田町の子どもたちがいじめのない明るい学校づくりに向けて話し合ってもらおうと、町教育委員会が主催。沼田小中学校の児童会・生徒会の役員7名が集まりました。

アイスブレイクの後、ホワイトボードを使った協議を開始。町教委職員の進行で、学校での楽しかった思い出なども交え

ながら、子どもたちは明るい学校づくりに向けた様々な意見を述べていました。途中、本庄総合教育アドバイザーの助言なども踏まえつつ、最後には『ありがとう』や『助かったよ』など、人の心に傷をつけない優しい言葉で話し合おう」と結論をまとめ、「子ども会議」は幕を閉じました。

良い写真を撮るためには…？

趣味の講座「デジカメ教室」



3月29日（金）、町教育委員会が主催する「趣味の講座『デジカメ教室』」が生涯学習総合センターゆめっくるで開催され、25名が参加しました。

講師は雨竜町在住の写真家の岡本洋典氏。岡本氏は沼田町で開催している「明日萌の里フォトコンテスト」の第1回目から審査員を務めている方で、今回、その縁からデジカメ教室の開催となりました。

岡本氏はコンパクトデジカメと一眼レフ、ミラーレスカメラの違いなど、実際に岡本氏が撮影した写真をスクリーンに写しながら丁寧に説明。岡本氏は「いい写真を撮るためには、いいカメラを使うだけでなく、パソコンを覚えて、適切なデータ調整を行うとよい」と参加者にアドバイスしていました。

教室の最後には、参加者が自前のカメラで撮影した写真の講評を行い、参加者はプロからの適切な助言に感心しながら話を聞いていました。

今シーズンも沼田で滑り納め！

明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

毎年の恒例行事で、シーズンの終わりに開催することで知られる「明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い」（同実行委員会主催）が、3月23日（土）に前夜祭、24日（日）に大会の日程で、ほろしん温泉ほたる館で開催されました。

前夜祭には、翌日の大会に参加する約80名が参加し、久しぶりの再会と道内各地の歩くスキー仲間が集うことで、とても好評です。

大会長の金平嘉則町長が「今年は雪が多いのと整備を十分しているのでコースの心配はありません。この前夜祭と歩くスキーで沼田町を堪能していただき、また夏に沼田町に来てください」と歓迎の挨拶をし、吉住淳男実行委員長の乾杯で宴が始まりました。

会場は、参加している歩くスキーの団体の紹介やビンゴゲーム大会などで盛り上がり、翌日の大会での完走を誓いあっていました。

翌日の大会には約270名が参加。昨年並みの参加者で、遠くは稚内市からの参加や最高齢は92歳と、幅広い層の方が大会にかけつけました。

開会式で吉住実行委員長が「皆さんの熱気で沼田を暖かくしてください」と挨拶し、その後、それぞれ3つのコースに分かれてスタートしました。

大会は町民約60名のボランティアで運営されており、また、ゴール地点では、地元幌新地区のグループ「すずらん土里夢（ドリーム）」のお汁粉や地元建設業協会のホットミルク、酒組合のミネラルウォーターなどが参加者に無料で振る舞われ、ゴールした参加者を笑顔で出迎えていました。



沼田長生クラブ

JR石狩沼田駅を清掃ボランティア

4月5日（金）、沼田長生クラブ（野道夫会長）がJR石狩沼田駅の清掃ボランティアを会員約40名で行いました。

来週から深川などへの通学で多くの高校生が利用を始めることから、例年と同様に同クラブが企画。会員らは、床に水を撒いてきれいにふき取り、ほうきなどで天井のほこりを丁寧に払うなどして駅舎の汚れを落としました。

このボランティア清掃に、JR深川駅の宮内進駅長も駆け付け「こんなにたくさんの方に掃除していただいてありがたい」と感謝の気持ちを述べていました。



早く外で運動ができますように…

渡部建設（株）が雪割りのボランティア

4月12日（金）、沼田町の特定建設業の渡部建設（株）（渡部稔代表取締役）が、沼田中学校グラウンドと農村公園野球場の雪割りボランティアを行いました。

子どもたちに元気に外で運動をしてもらいたいと、昨年引き続き実施された雪割りボランティア。今年の大雪の影響で、まだ雪が多く残るグラウンドに、作業員がトラクターにプラウを付けて乗り込み、雪割り作業を実施しました。



寄付

五町内会が小学校に 図書購入費用を寄付

昨年12月末に新校舎が完成した沼田小学校。その新築された小学校と同じ地区に住む五町内会の住民が新校舎に通う子どもたちに何か出来ないかと考え、町内会独自で寄付を募り、寄付金を図書の購入費用に充ててもらおうと、3月27日（水）に五町内会の辻陸治会長から藤森正男校長に70件7万4000円の寄付金を手渡されました。

辻会長は「気持ちばかりですが」と藤森校長へ手渡されると、藤森校長が「本を読む事が大切だと言われているので、読書する環境づくりの為に有意義に使わせていただきます」とお礼を述べていました。

小西克典さんから寄付

4月4日（木）、市内1北の小西克典さんからふるさとづくり基金に50万円の寄付がありました。



贈呈

元監査委員の

山木一男氏に

感謝状贈呈

町の監査委員として平成17年1月から2期8年間にわたり任務にあたられた、旭町東の山木一男さんに3月21日（木）町長室で金平町長から長年のご苦勞に際し、感謝状が贈られました。



寄贈

沼田ライオンズクラブ、 沼田小学校に液晶テレビを寄贈

4月2日（火）、沼田ライオンズクラブ（墓田邦晃会長）が沼田小学校（藤森正男校長）に55型液晶テレビを寄贈しました。

今回のテレビの寄贈は、沼田ライオンズクラブ認証50周年記念活動の一環として行われたもので、墓田会長は「ぜひ有効に使っていただきたい」と話し、藤森校長は「来校者に対する学校のPRや設置されている太陽光の発電モニター、児童会での活動など様々な形で活用していきたい」と今後の活用方法の展望を話していました。

テレビは早速、児童玄関前の「ひかりの原っぱ」と呼ばれる多目的スペースに設置され、今後、太陽光から作られた電気を電源としてテレビを使用していくとのことです。



役場主婦の会、新一年生に 手作りマスコットをプレゼント

4月2日（火）、役場主婦の会（金平智子会長）が、春から沼田小学校に通う新一年生20名の交通安全を祈願して「カエルのマスコット」手作りで作成。校長室で金平会長から藤森正男校長に手渡されました。

このカエルのマスコットのプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として長年行っているもので、金平会長は「子どもたちが無事に通学できるように願いを込めて作りました」とマスコットの入った箱を手渡すと、「ありがとうございます。子どもたちも喜んでくれると思います」と藤森校長はお礼を述べていました。

マスコットは、4月8日（月）の入学式の日に入学生に手渡されました。



辞令

鵜野育雄さんに 固定資産評価審査委員 辞令交付

固定資産税の評価額に不服がある納税者からの審査申出について、中立・公平の立場から、対象の固定資産について町の評価額が適正であるかを審査する固定資産評価審査委員会の辞令交付が、3月25日（月）、町長室で行われました。

今回任命されたのは、鵜野育雄さん（仲町東）。任期は平成28年3月24日までの3年間で、現委員の横山佳幸さん（北竜2）、大西晴彦さん（東予）とともにも3名で業務にあたります。



認定

大堀英彰さん 北海道青年林業士に認定

平成22年度より制度が創設された「北海道青年林業士制度」の認定を受けた、共成地区在住の大堀英彰さんが、3月26日に空知総合振興局で認定（金）、役場を訪れ認定の報告を行いました。

北海道青年林業士とは、地域の森林づくりに熱意と意欲を持った指導性を有する後継者を「青年林業士」として認定し、林業普及指導員と連携し様々な場面で活躍し、持続的な森林資源の維持・増進につなげようとするもので、制度が開始してから全道で119名、空知管内では6名、沼田町では今回が初めての認定者となります。

大堀さんは、父信義さんが熱心に山づくり、地域環境保全活動を行って

いる方で、その影響から農閑期には信義さんの手伝いをしながら技術や知識を継承してきました。また様々な組織の役職にも従事し、その地域の若手リーダーとしての活躍ぶりから、今回の青年林業士の認定となりました。

大堀さんは「山づくり」に励む父の意志を継承して活動していきたい」と、今後の活動の意欲を語っていました。



沼田の治安を最前線で守る 新しい警察署長からご挨拶！

3月25日付けで沼田警察署長に就任しました木村でございます。

昭和55年に警察官になり、沼田警察署が16カ所目の配属になります。

高校卒業までを北竜町、留萌市で過ごし、警察官になってからも度々訪れた沼田町に懐かしさを覚え、ここに住み、治安を守る仕事をさせて頂くことに喜びを感じております。

3月に就任したときには、雪の多さに驚きました。雪が解け、田や野山が緑色に包まれ、ほたるが飛び交い、町中が夜高あんだんの活気にあふれ、一面黄金色に輝く実りの秋へ、季節の移りかわりを感じながらの生活を楽しみにしています。

まだ半月あまりの勤務ですが、交通安全活動や防犯活動に力を入れ、町民の方々が町を大切に思っている事と強く感じています。

これまで培ってきた、安全で住みよい沼田町が続くよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



沼田警察署長
木村 茂 典
昭和37年2月5日生まれ

ふれあい Infomation



住民健診の申込が始まります！～私の健康が創る「沼田の未来」～

沼田町の皆さまの健康に役立てていただきますよう、平成 25 年度住民健診のご案内をします。

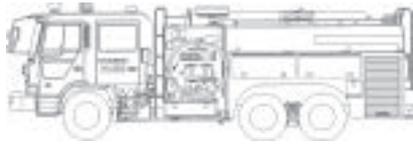
《各種健（検）診のポイント！》

- ① 20～39歳の方もぜひ健康診査（若年健診）を受けましょう！沼田町でも糖尿病などの生活習慣病が増えており、予防可能な病気だけに早期の健診受診が何より大切であることから、他で受ける機会のない方、子育て世代の方が1人でも多く健診を受けていただきますようお願いいたします。
- ② 生活習慣病予防のための健診料金は無料です。
- ③ 40～74歳の方の特定健診は、生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症など）治療中の方も対象となります。現在ご加入の医療保険の「特定健診」を必ず受診下さい。
- ④ 「がん総合検診」は、社会保険など国民健康保険以外の特定健診とがん検診を同日に受診できますので、ぜひご利用下さい。
- ⑤ 全健診、今回の健診申込用紙にてお申込み下さい。昨年度まで、一部の検診のみ電話による先着申込を実施していましたが、今年度より全健診申込用紙による一括申込みになります。

～申込み方法～

詳しいお申込方法は、後日申込書と説明書を各世帯にお送りいたしますので、そちらでご確認の上、**5月20日（月）**までにお申込下さい。

健診種別	生活習慣病予防のための健診			がん検診				
	若年健診	特定健診	後期高齢者健診	子宮がん	乳がん	胃がん	大腸がん	肺がん（結核）
	20～39歳	40～74歳	75歳以上	20歳以上女性 ※隔年対象	40歳以上女性 ※隔年対象	35歳以上	40歳以上	40歳以上 ※65歳以上は結核検診と併せます
対象者	※妊婦健診、職域健診など受診予定の方は除外	国民健康保険	国民健康保険以外（社会保険、共済保険等） 後期高齢者保険					
健診・保健指導	*身体・血圧測定、診察、血液・肝機能・尿・腎機能・血糖・心電図・眼底・貧血検査 *保健師・管理栄養士・健康運動指導士による指導が受けられます。		身体・血圧測定、診察、血液・肝機能・尿・腎機能・血糖検査	頸部内診・細胞診	マンモグラフィ・視触診	胃X線造影	便潜血	胸部単純撮影（喀痰検査）
健診料金	無料	無料	無料	1000円	1000円	1000円	1000円	1000円 ※喀痰無料
生活保護・非課税世帯（要申請）、70歳以上の方は無料です。								
旭川厚生病院	ふれあい ふれあい総合健診 7月9日（火）～12日（金） 10月17日（木）～18日（金）	ふれあい総合健診		ふれあい総合健診				
	健診センター 女性一日総合健診 7月18日（木）・23日（火） 11月5日（火） オススメ	女性一日総合健診 ※バス送迎有		女性一日総合健診 ※バス送迎有				
	人間ドック 7月～3月迄の希望日	人間ドック ※特定健診分		※特定健診以外は、全額自己負担（JA組合員の場合の助成有）です。				
沼田厚生病院	人間ドック 7月～3月迄の希望日	人間ドック ※特定健診分		※特定健診以外は、全額自己負担（JA組合員の場合の助成有）です。				
	沼田厚生病院健診 ※後日設定します	沼田厚生	沼田厚生					
対がん協会	旭川センター がん総合検診 オススメ ① 10月24日（木） ② 7月～3月迄の希望日	ご加入の除セが 医療で、ンタ 特定医の関 指てい日れ 同けらま す。		がん総合検診 ※10/24のみバス送迎有				
	札幌センター がん総合検診 オススメ 7月～3月迄の希望日			がん総合検診				
	ふれあい 子宮・乳がん検診 12月3日（火）			子宮・乳がん 検診 ※定員90名				



消防報

深川地区消防組合
 深川消防署
 沼田支署予防担当
 TEL 35-2050

沼田消防団に4名の新しいチカラが入団！

沼田消防団では4月1日4名の新入団員に渡邊団長から辞令が交付されました。「人口が減少する中、入団された4名の若い力を地域防災に尽力をいただき、安全なまちづくりを共に目指しましょう」と訓示があり、皆真剣に聞き入っていました。

新入団員（第2分団員）

宮崎一成（東予） 中村敏光（高穂） 土田翔平（共成） 須網敬亮（東予）

第2分団人事異動（4月1日） （昇格）

分団長 廣田和行、副分団長 大西晴彦、部長 長野 尚、鈴木一稔
 班長 中西範行、澤田篤彦



ガソリンをポリ容器に入れてはダメ！

ガソリンを含む各種燃料は私たちの生活に深く関わっていますが、その取り扱いを誤ることで、火災の原因や被害の拡大につながる場合があります。ガソリンは引火点がマイナス四十度程度でも火災の発生が極めて高い物質です。灯油用のプラスチック容器にガソリンを入れることは極めて危険です。また、消防法により禁止されていますので絶対にやめましょう。



『警報器 あなたの危険 知らせます』

大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35-3110



自転車は安全に利用しましょう！

自転車はとても便利で環境に優しい乗り物です。ところが、ルールやマナーを無視した乗り方は重大な交通事故につながる可能性があります。正しいルールを知り、安全に自転車を利用しましょう。



- 酒を飲んだときや疲れが激しいときは、乗ってはいけません。
- ブレーキが故障している自転車には乗ってはいけません。
また、尾灯、反射器材のない自転車には、夜間乗ってはいけません。
- 二人乗りは危険ですからやめましょう。
幼児用の座席に幼児を乗せるのは例外です。
- 傘を差したり、物を手やハンドルに提げて乗るのはやめましょう。
- 自転車に乗るときは、運転者から見やすいように、明るい目立つ色の衣服を着用するようにしましょう。

キーワードは「悪質業者はう・そ・つ・き！」です！ ～悪質商法の被害にあわないために～



- 【う】うまい話を信用しない！
うますぎる話、絶対もうかる話には大きな落とし穴がつきものです！
- 【そ】そうだんする！
ひとりで判断せず、家族・知人・相談機関に相談を！
- 【つ】つられて返事をしない！すぐに契約しない！
悪質業者は、言葉巧みにすぐ契約するように迫ってきます！
- 【き】きっぱり！ はっきり！ 断る！
あいまいな返事をせず、キッパリ！ ハッキリ！ 断る！

沼田町の事件・事故の発生状況

犯罪の発生状況

(平成25年3月末現在)

		侵入窃盗	自動車盗	倉庫荒し	忍び込み	器物損壊	置引き	合計
沼田町	平成25年	0	0	1	1	0	1	3
	平成24年	0	0	0	0	0	0	0

交通事故の発生状況

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成25年	0	平成25年	33
平成24年	0	平成24年	43

(平成25年3月末現在)

町民が町外で第1当事者となった人身事故件数

平成25年	0
平成24年	0

(平成25年3月末現在)

物損事故の主な原因のワースト3は、前方不注視、ブレーキ操作の不適、後方不注視です。高齢者（65歳以上）の物損事故の発生率は21.2%と高くなっています。

「こども館」スペース ご利用ください!



ゆめつくるにあった学童保育「こども館」は、小学校新築に伴い移転し空き空間となっております。このスペースを自主学習スペースや町民（子育て）サロンとして開放いたします。皆様の学習や集いの場としてご利用ください。

生涯
学習

ゆめつくる

◆町民（子育て）サロン

ちょっとした集まりにご使用ください。こども用の空間もあるので、子連れのお母さんたちでも安心して使用できます。



吹奏楽サークルの会合の様子

吹奏楽サークルは4月に立ち上がったばかりのサークルです。現在、会員を大募集中です！また、ご家庭で眠っている楽器も募集しております。

◆自主学習スペース

調べものしながら学習したり、個人や仲間で集中して学習することができます。また、図書館から学習に必要な書籍や、各学年に合わせたチャレンジテスト（問題集）もおいてあるので、実力試しにご利用いただけます。



長期休業期間中や、放課後の勉強の場として利用されています。お友達と集中し勉強することができます。

◆利用時間について

- 平日（月～金） 8：45～14：00 町民（子育て）サロン
14：00～20：30 自主学習スペース
- 土・日・祝日 9：00～12：00 町民（子育て）サロン
12：00～17：00 自主学習スペース

使わなくなった参考書または問題集（ドリル）を集めています！

皆様のご家庭で眠っている、小学・中学・高校・大学受験・資格取得などの参考書や問題集（ドリル）をご提供いただけませんか？上記の学習スペースの本棚に置き、皆さんに有効活用していただきたいと考えています。たくさんある場合は、ご自宅まで取りに伺いますので、お気軽にご連絡ください！

リサイクル参考書及び問題集問い合わせ先 教育委員会社会教育グループ 35-2132（担当：岩井）

司書のイチカン! 『親子でつくるおもちゃ』



休みになるとどこに行こうか悩みますが、悩んだときは家でお子さんと一緒におもちゃを作って遊んでみませんか？

材料を用意するのが面倒という方もいるかもしれませんが、家庭にある軍手や端切れでかわいいおもちゃが作れるんです。

今回紹介するのは『てぶくろえほん・てぶくろおもちゃ』というカラー軍手などを使って作るおもちゃの本です。カラー軍手で動物から魚、乗り物まで色々なものを作ることができ、そして指人形も作れます。

お子さんが小さいときはお母さんやお父さんが作って、お子さんが大きくなったら一緒に作る。そんな風を楽しむことができます。また、学校の長期休暇中の自由研究にも使えます。

もし、カラー軍手が手に入らなくても、色落ちはしますが絵具で軍手に色をつければ大丈夫です。

材料がすべて揃わなくても、身近なもので代用できたりしますので、お子さんと一緒に楽しみながらおもちゃを作ってください。

今回紹介した本以外にも、お子さんと一緒に作って遊べるものが載っている本があります。また、おもちゃ以外にも料理の本などもあります。

図書館に来館された際は、ぜひ手に取ってみてください。

新刊図書

《一般書》

- 「わりなき恋」 作者：岸 恵子
- 「幸せのタネをまくと、幸せの花が咲く2」 作者：岡本 一志
- 「へこたれない心」 作者：園田天光光
- 「リアル 12巻」 作者：井上 雄彦
- 「望郷」 作者：湊 かなえ
- 「夢をかなえるゾウ2」 作者：水野 敬也
- 「僕の死に方」 作者：金子 哲雄
- 「親子で楽しむ12カ月のキッズイベント」 作者：辰元 草子
- 「奥の奥の森の奥に、いる。」 作者：山田 悠介
- 「モニタールーム」 作者：山田 悠介
- 「64」 作者：横山 秀夫
- 「食べる野草図鑑」 作者：岡田 恭子

《児童書》

- 「ドキドキ新学期」 作者：はやみねかおる
- 「あたし、ようせいにあいたい！」 作者：のぶみ
- 「しにがみさん2」 作者：宮西 達也
- 「小林 一三」 作者：海野そら太
- 「まんまるハオちゃん」 作者：やぎたみこ

新刊図書おすすめ!!

「64 (ロクヨン)」 横山 秀夫



たった7日間しかない昭和64年に起きたD県警史上最悪の「翔子ちゃん誘拐殺人事件」。長官慰問を拒む遺族。当時の捜査員など64関係者に敷かれたかん口令。刑事部と警務部の鉄のカーテン。謎のメモ。長官視察の日に一体何が起きるのか？

「自然と親しむはじめてキャンプ」



失敗を恐れず、自然の中で過ごしてみよう。キャンプを成功させる準備のポイントから、基本のロープワーク、キャンプ場の利用法、野外料理、フィールド遊びまで、キャンプのコツを豊富な写真とイラストを使って解説する。

「うしろのダメラ」 あきやまだし



怪獣ダメラはみんなと一緒に遊びません。みんなの近くにいるけれど、気づかれないようにしています。ダメラは自分のことを「ダメな怪獣」だと思っているから。でも、かけっこをしてみたら一番になってしまい…。

沼田町役場の新しい仲間をご紹介します！

4月から沼田町で働くこととなりました。町民の皆さんよろしくお願いいたします！



保健師

おち ゆり え
越智 由利恵 (28)

【勤務先】保健福祉課
【趣味】フラダンス
【抱負】出身は新十津川町です。沼田町で保健師の仕事ができる事を嬉しく思っています。どうぞ宜しくお願いします！



農業技術指導員

とみしま けいじ
富嶋 敬二 (60)

【勤務先】農業振興課
【趣味】ドライブ
【抱負】沼田のまちづくりのため、少しでも、お役に立てればと思っています。よろしくお願いいたします。



農業総合対策室長（道派遣職員）

うの かずとし
宇野 和敏 (54)

【勤務先】農業振興課
【趣味】釣り
【抱負】沼田町の農業活性化のために微力ながら努力したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします！



社会教育主事

たなか えり か
田中 恵理華 (22)

【勤務先】教育委員会
【趣味】映画鑑賞・カメラ
【抱負】まだわからないことだらけですが、早く町の皆様のお役にたてるように頑張ります。



保健師

ふかお ともみ
深尾 知未 (23)

【勤務先】保健福祉課
【趣味】軟式テニス・カラオケ
【抱負】住民の皆様と一緒に健康について考えていきたいです。早く一人前になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



主事

まつざか かずき
松坂 一樹 (23)

【勤務先】政策推進室
【趣味】スポーツ
【抱負】沼田町と町民の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



介護職員

ささき えり
佐々木 恵里 (18)

【勤務先】旭寿園
【趣味】料理・スポーツ
【抱負】元気と笑顔が溢れる介護職員として日々邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします！



介護職員

きど ゆか
城戸 由佳 (20)

【勤務先】和風園
【趣味】音楽鑑賞・バドミントン
【抱負】初めての事ばかりで不安もたくさんありますが、自分らしく元気と笑顔を大切に頑張っていきたいと思っております。



介護職員

いかわ あやか
井川 彩花 (21)

【勤務先】和風園
【趣味】映画鑑賞
【抱負】仕事をしっかりと覚えて、少しでも利用者様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします！

広報めまた 第五六八号

みんなで沼田を盛り上げたい！
ゆきものがかり設立総会

4月12日（金）、観光情報プラザで「ゆきものがかり設立総会」が開催されました。

ゆきものがかりは、平成21年頃に町の若者が集まり活動を始めたのをきっかけに、雪夏祭やハロウィンイベントなどの様々な事業展開やイベント運営の手伝いなどをしてきましたが、今回、規約を設けて正式な団体として活動していくこととなり、この日、会員65名のうち35名が会場に集まり設立総会を開く運びとなりました。

冒頭で発起人の山田昌希氏は「自分たちの力で町を活性化させ、子どもたちに繋げていきたい。みんな色んな仕事がある中大変だと思うが、この町を盛り上げていきたいので、よろしくお願いします」と挨拶。総会では、規約や役員、平成25年度の事業計画と予算について協議が行われ、全て原案通り可決されました。

総会終了後の懇親会では、短編映画「ユキモノガタリ」に出演し、ゆきものがかりの名誉会員となったお笑い芸人のペナルティ・ワッキーさんからのビデオレターや、主演の女優・森カンナさんからメールが届き、また、総会のために会場に駆け付けた札幌吉本所属で沼田町出身のお笑いコンビ・ピグマリオン（津川・下山）とクマツプが軽妙なトークで会場を沸かせていました。

今後、ゆきものがかりは既存事業の他にも「街コン」の開催や他市町村との交流などを検討していくとのこと。会長に就任した山田氏は「自立して会を運営していくことで責任の所在をしっかりとさせたかった。沼田を盛り上げることはもちろん、空知全体との交流や連携を取っていくような人との繋がりもどんどん繋げていきたい」と、今後の展開を語っていました。また、ゆきものがかりは年齢を問わず会員を随時募集しているとの事で、山田会長は「町内外問わず誰でもウェルカム！気軽に参加してみたい」と笑顔で話してくれました。

役員は以下の通りです。

- 会長 山田昌希
- 副会長 藤村健一、多田和宏、川嶋 敬
- 理事 伊藤 勲、中澤武彦、久本伸生、片山 賢、片山道敏、岩井俊直、岡田和久、大山勇太、鵜野俊平、山下広大
- 監事 墓田正則、鵜野翔太、小木明日美
- 事務局長 川嶋 智
- 事務局 一戸邦仁、藤崎 悠、大原利啓



写真左からクマツプ、ピグマリオン津川、ピグマリオン下山

二〇一三年四月二十五日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ

魚谷・小川 電話〇一六四―三五―二二一

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
川合 寛一さん	4月 7日	94歳	旭町西

人の動き

人口 **3,475人** (前月比 △38人)
 (男性 1,646人 女性 1,829人)
 65歳以上 1,299人 (高齢化率 37.4%)
 世帯数 1,594戸 (前月比 △11戸)
 ○総人口増減内訳
 増加…転入：13人 出生：0人
 減少…転出：46人 死亡：5人
 (平成25年3月29日現在)

交通事故死ゼロ

267日

継続中！

(平成25年4月1日現在)